令和５年度
学校だより
NO.３

# 甲府市立大国小学校

# 輝け！！大国の子

R5．６．８発行　校長：青木　央

**＝ 学校教育目標 ＝**
「心豊かに、知性を磨き、たくましく主体的に行動する子どもの育成」

**～めざす子どもの姿～**
○思いやりの心を持ち、助け合う子ども
○よく考え、自ら学び　表現する子ども
○心身ともに健康で、進んで行動する子ども

## ノーメディアデーへのご協力ありがとうございました！

５月２４日（木）～３０日（火）までの間、上条中学校で３１日（水）に１学期の中間テストが実施されるにあたり、大国小や国母小をはじめ近隣の小中学校で連携して、中学校の学習強化週間中に昨年度と同様「ノーメディアデー」を実施させていただきました。小学校でも同時期に同様の取組を行い、弟妹もこの期間に合わせてテレビを見たりネットを利用したりする頻度をなるべく少なくし、家族そろって勉強する環境を整えたいと考えました。
「ノーメディアデー」に取り組む目的は、次の３つです。
①ネットなどで時間を浪費せず、勉強に集中するため。
②せっかく勉強したのに、ネットなどの情報で記憶が上書きされてしまわずに、勉強した分の記憶力を上げるため。
③睡眠時間を確保し、学習した内容を睡眠によって脳に記憶し定着させるため。

「ノーメディアデー」に取り組んだ様子などについて、保護者の皆様からご感想を多数いただきましたので、いくつかを紹介させていただきます。

◆１年保護者
コロナ禍だったこの４年間、ネットワークを使わなければ、学習も遊びも成り立たなくなっていたような気がします。子どもだけでなく、与える親もネットワークに埋もれてしまい、それに慣れてしまったような・・・。
それでも、こういった活動があることで、使い方を話し合ったり、なくせる物はなくしたりすることで、学習面において集中して取り組むことができていました。子どもだけでなく、大人も一緒に〝ノーメディア〟週間を経験して取り組めたらいいなと思いました。集中して取り組むことで、短時間にいくつもの学習に取り組むことができました。

◆１年保護者
初めての「ノーメディアデー」時間を決めてみんなで取り組みました。家族の時間を増やすことができました。子供だけでなく大人もいろいろ考えさせられました。

◆１年保護者
１日全くのメディアを断つというのは難しかったですが、時間を決めたり必要のない時には触れないように意識したりすることで変化を感じました。

◆２年保護者
レベル①に取り組みました。宿題など学習時間には、テレビやスマホを消して集中して学習することができました。少しずつレベルが上がるように１日のテレビ時間を減らしていこうと思います。

◆４年保護者
取り組むレベルが事前にわかっていたので、目標を先に具体的に決められてよかったです。今までは帰宅後すぐにスマホかテレビかゲームでしたが、ノーメディアデーはレベル③と決めたら、外で遊んだり（サッカーやキャッチボール）マンガを読んだり、他のことを見つけて遊んでいました。勉強をする時間が増えたわけではないですが、ヒマさえあればYouTube・・・のような習慣が少しでもなくなるとよいと思います。親が言ってもなかなかきいてくれないので、学校で「ノーメディアデー」を決めていただけると取り組みやすいです。

◆４年保護者
宿題や自学などを早めに終わらせて、ゲームなどを短時間やっていました。

◆４年保護者
　レベル②として取り組みました。２日間くらいは、ほとんどＴＶを見たりすることなく過ごすことができました。でも、少し予定よりも多くＴＶを見てしまう日もありました。どちらにしても勉強中は、集中して学習できていました。

◆５年保護者
　勉強中はもちろんですが、何か大切な用事をこなす時は、しっかりと集中してほしいものです。１日の中で、ノーメディアに取り組むことを家族でチャレンジしていきたいです。レベル①は、まあまあできたと思います。

◆５年保護者
　全てのメディアを日常の中で断つことは難しかったですが、こうして意識することで変わることがわかりました。時間を区切ったり（終わりを決める）、場面を考え切り替えたりすることは普段から心がけていますが、今後も継続しようと思います。

◆６年保護者
　家に帰って来てから勉強している時、家族でご飯を食べている時は、必ず携帯もテレビも禁止しています。ご飯を食べてからは少し何かを見たりしていますが、けじめをつけてできたと思います。これからも続けていきたいです。

◆６年保護者
　テレビ以外にタブレット、ゲームをしている時間があります。時間も決められず使っています。学習に利用できる時間が増えるとよいと思います。ドリル等もありますが、学習に対し理解が深められるよう学校の持ち帰りＰＣを含め利用していくことが必要と思います。いろいろな利用方法を知ってほしいです。

◆６年保護者
　中学生の姉に合わせてノーメディアデーに参加しました。普段なかなかメディアを使わないことを実施することは難しいですが、テスト期間中なのでスムーズに実施することができました。その中で、家族での会話が増えたり、お手伝いをしてくれたり、とても有意義な時間でした。

◆６年保護者
　レベル②くらいが日常。これ以上の取組をするには、年の離れた兄弟がいると（生活のペースが違うので）コンセンサスをとることが難しい。親にかなりのゆとりが必要だ。「娯楽的なメディア」と「知育・学習のためのメディア」の線引きが曖昧で、親の気分や都合で解釈が違ってしまうのは反省すべき点。子供たちと話し合い、明確な判断基準をもちたい。

---

　たいへん好意的協力的なご感想を多数いただき、心より感謝申し上げます。一方で「娯楽的なメディア」の定義づけが曖昧でわかりにくいというご意見もいただきました。
　数年前に実施された国際調査において、日本の子供たちは、学校外でのデジタル機器の活用時間は世界ナンバーワンなのに対し、その時間を学習のために活用している割合は世界最下位という結果が報告されていたようです。この結果から、デジタル機器の使用時間のほとんどがゲームや動画の視聴等の娯楽のために利用されていることが課題として指摘されています。これから子どもたちが生きていく社会は、デジタル機器を如何に活用していくかがとても重要となります。そういった意味で、ただ単に「メディア」を使わせない指導から、学習のために有効に活用していく習慣やスキルを身に付ける指導にシフトしていくことが必要となると感じています。
※『娯楽メディア』とは・TVやパソコン、タブレット、スマホ等を娯楽のために活用することとします。学校のChromebookによる調べ学習やニュース番組の視聴等は、積極的な活用を促してください。

　今回の取組をきっかけに、ご家庭でもメディアの使い方について話題にしていただければと思います。ご家庭でお子さまとよく話し合ってルールを決めることで、子供たちも納得して、メディアとの関わりを考えてくれるのではないかと思っています。子供たちの豊かな成長のため、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。